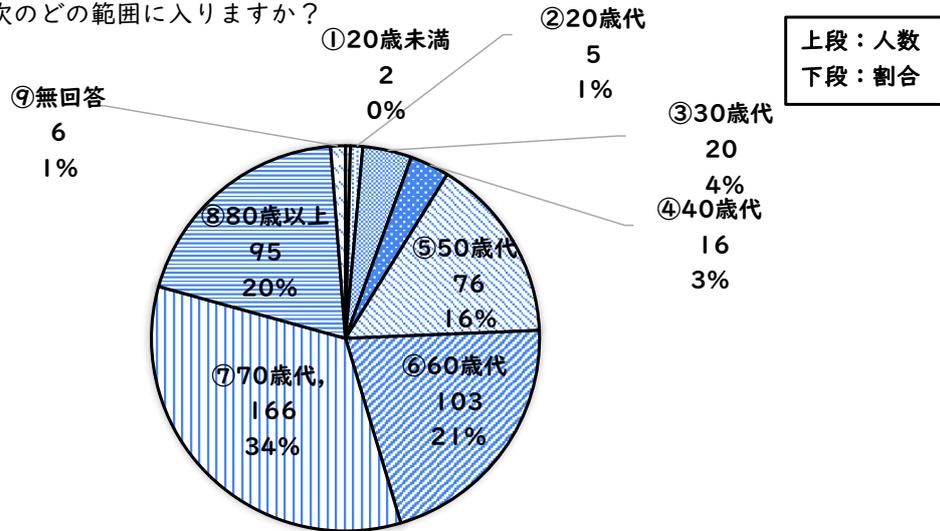


令和2年度五つ星学園の在り方に関するアンケート (昭和中学校区在住者対象)

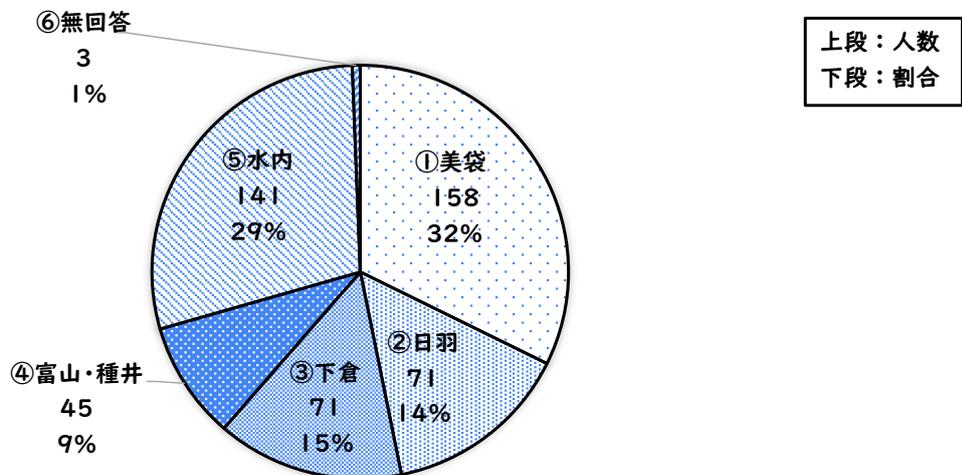
アンケート実施期間 令和3年2月12日～23日

配付数 1,191 世帯 回答数 489 人 回答率 41.0 %

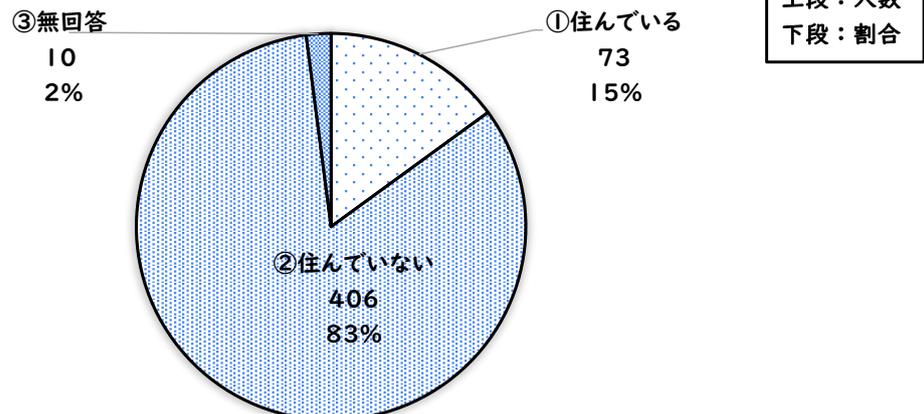
問1 あなたの年齢は次のどの範囲に入りますか？



問2 あなたのお住まいはどちらですか？

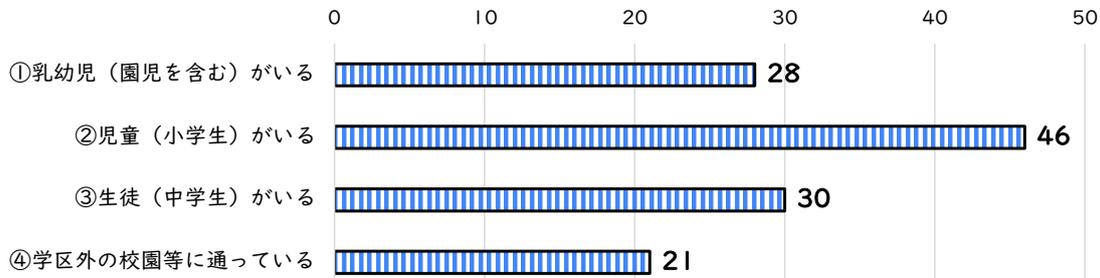


問3 あなたは0歳～中学生までのお子さんやお孫さんがおられますか。そのお子さんやお孫さんは、昭和中学校区内にお住まいですか？*お子さんやお孫さんがおられない方は、「②住んでいない」に○をつけてください。



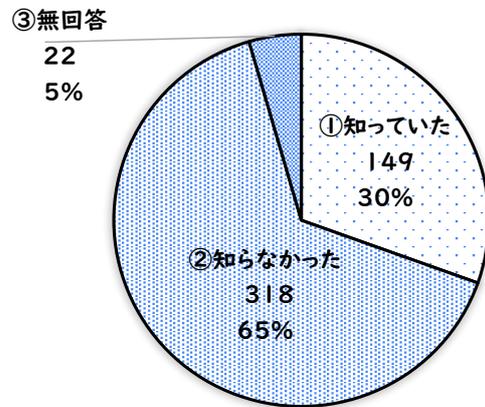
問4 乳幼児、幼稚園・小学校・中学校に通われている、あなたのお子さん、お孫さんについて、おたずねします。次のどれにあてはまりますか？ 複数回答可

(人)



問5 五つ星学園内の園児・児童・生徒数は、令和2年度(206人)と比べ、令和8年度には5割程度に減少することが予想されますが、ごぞんじですか？ (※ 新規に学区外から就園・就学する子どもがないと仮定した場合の推計による。)

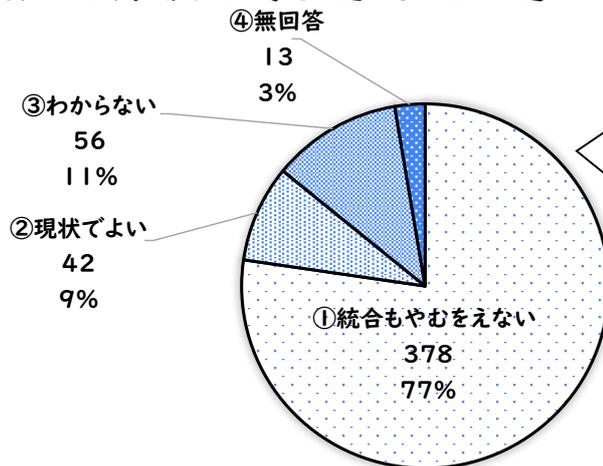
上段：人数
下段：割合



保護者アンケート(令和2年度8月～10月実施、107人回答)では、園児・児童・生徒数の減少について、70.1%が「知っていた」、29.9%は「知らなかった」と回答しています。今回の地域住民アンケートでは、「知っていた」が30%にとどまり、65%が「知らなかった」と回答しており、保護者と比べ減少問題が知れ渡っていないことが分かりました。

問6 園児・児童・生徒の減少に伴う今後の五つ星学園の在り方として、「学校間の統合」という声も出ています。あなたの考えに近いものを一つ選んでください。

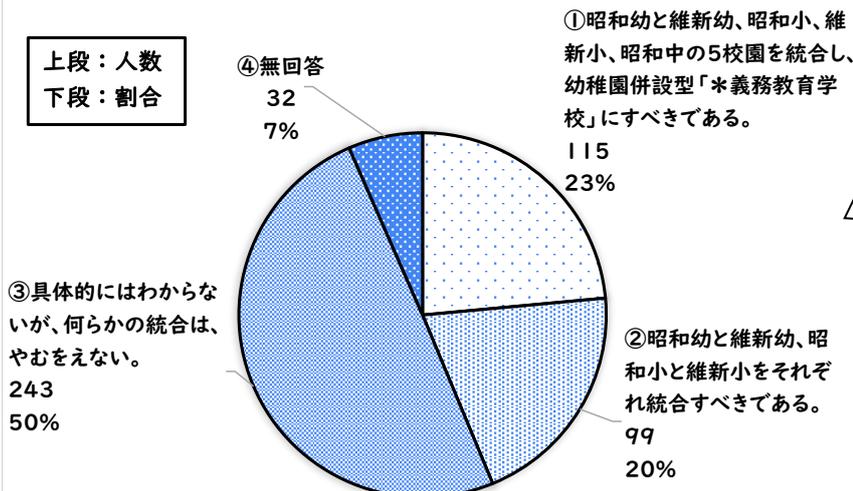
上段：人数
下段：割合



前述の保護者アンケートでは、「何らかの統合」を肯定した人が88%を占めています。本質問では、地域住民489人のうち、77%が「統合もやむをえない」と回答し、「わからない」という回答は11%、「現状でよい」という回答は9%にとどまっています。地域の皆様も、保護者同様、現在の学校の枠組み(配置)を見直すことについて肯定的なご意見をお持ちの人の割合が高いことがうかがえます。

問7 学校間の統合の仕方について、あなたの考えに近いものを一つ選んでください。

上段：人数
下段：割合



「5校園を統合し、幼稚園併設型義務教育学校」が23%、「幼小それぞれ統合」が20%であり、この二つには大きな差は見られません。一方、「具体的には分からない・・・」が50%に上っており、「義務教育学校」に関する情報や知識が十分でなく、どのような統合の仕方がよいのか判断に迷った人の割合が高いと考えられます。